



「中庭から食堂を望む」(事業課職員 小輪瀬護安)

## も く じ

○総合テーマについてひとこと	研究紀要第6号論文募集	4
十文字学園女子大学教授 橋本ヒロ子	エル・ネット「家庭教育セミナー」再放送	5
○事業の実施報告	○調査研究資料の作成	
女性関連施設職員のためのセミナー	高齢社会に向けての男女共同参画学習に	
男女共同参画週間記念公開講演会	関する調査研究報告書	5
○事業予告・募集	子育てサークルの活動に関する調査	5
家庭・地域で担う子育て支援セミナー	○情報ネットワーク	5
ヌエック2001・全国交流フェスティバル	○ことばの基礎知識	6
男女共同参画学習推進フォーラム	○ボランティアコーナー	6
ヌエック公開シンポジウム	○お知らせ	8
女性情報国際フォーラム		

平成13年度 国立女性教育会館総合テーマ

又エック新たなる飛翔

『男女共同参画社会の形成をめざした「学び」と「活動」』について



## 橋本 ヒロ子 氏からひとこと

### 「ナショナルセンターとしての期待」

日本社会では、「男は仕事、女は家庭」に象徴される性別役割分業がなかなか払拭できないことが国際的に知られています。国連開発計画が1995年から公表しているジェンダーエンパワーメント指標における日本の順位は、2000年では41位と先進国中最下位です。その直接の要因は国会議員や管理職における女性の割合の低さと女性一人あたりの国内総生産額が男性に比較して低いからです。また、高等教育を受けた女性が就労をしていない割合も日本は諸外国に比較して極めて高いのです。女性が男性と対等に21世紀社会づくりに貢献するためには、女性たちが社会で活躍し易い仕組みが不可欠です。政府は男女共同参画社会基本法を制定し、育児休業・介護休業法などの改正を進めています。しかし国民の意識が変わらなければ、これらの法律も活きません。

国立女性教育会館の第1の課題（私見ですが）は、これらを背景とした国民の意識作りと意識変革のため、ナショナルセンターとしての役割を果たすことです。プログラムやマニュアル、ビデオ教材等の開発、リーダーやトレーナー養成講座の開催などが考えられます。すでに会館が着手しているこの種の事業をベースに、さらに専門的かつ実効性のある事業を勧めることが緊要です。また国民の意識変革のためには、女性だけを対象とするのではなく、男性も巻き込むプログラム作りが鍵となるでしょう。

第2の課題は、女性のエンパワーメントについて、調査研究を進めることです。エンパワーした女性たちが起業したり、就労したり、政治参画するためのトレーニングプログラムの開発も必要です。一部の女性センターではすでに進められていますが、ナショナルセンターとしての日本各地で実施可能なプログラム開発が求められています。また、女性のエンパワーメントを可能にする仕組みについても調査研究の課題です。

第3の課題は国内外の女性情報ネットワークの推進とそれを支える調査研究の促進です。その他にもナショナルセンターとして多くの課題がありますが、それを実施する体制が現状では不十分です。特に職員数は、同様な機能を持つ韓国女性開発院の2分の1以下で、研究員数の少なさが際立っています。独立行政法人となり問題をどう解決するか、どのような支援体制をつくるか。これは、文部科学省や又エックだけの課題でなく、地域の女性センター、生涯学習関連機関・団体、女性学／ジェンダー関連団体・研究機関、女性団体やグループの課題であるともいえましょう。

## プロフィール

**現 職** 十文字学園女子大学社会情報学部教授  
独立行政法人国立女性教育会館監事

**専門分野** 女性政策、開発と女性、女性情報

**主な著書** 「男女共同参画推進条例のつくり方」 ぎょうせい  
「21世紀の女性政策と男女共同参画社会基本法」  
ぎょうせい



## 事業の実施報告

### 女性関連施設職員のためのセミナー

6月5日～8日まで、「女性関連施設職員のためのセミナー」を開催しました。このセミナーは、会館創設当初より実施しており、公私立女性会館・女性センター等の職員として必要な知識・技術を身につけるための専門的・実践的な研修を通し、施設職員としての資質向上を図るとともに、男女共同参画社会の形成をめざした生涯学習を促進することを目的としています。

25回目にあたる今回は、「2001年、これからの女性関連施設」をテーマとして、就任2年未満の館長・職員128名が参加し、男女共同参画社会の形成に向けたエンパワーメントの拠点としての施設及び施設職員の役割等についての知識・技術を身につける研修となりました。

セミナーは、文部科学省生涯学習政策局主任社会教育官名取はにわ氏による講演をはじめ、講師に結城美恵子インフォメーションプランニング代表、廣瀬隆人宇都宮大学助教授、伊藤真知子東北公益文科大学助教授、金香百合大阪YWCA総合教育研究所所長、政野澄子福井生活学習館長、及び既に地域で活躍している施設職員等を迎え、講義や研究協議・実習・ワークショップ等を実施しました。



▲挨拶する大野 曜理事長



▲名取はにわ文部科学省生涯学習政策局主任社会教育官による講演

### 男女共同参画週間記念公開講演会

#### 「ゆたかな高齢期をつくる－向老期をともに生き、ともに学ぶ－」

6月24日、男女共同参画週間（6月23日～29日）に因み、男女共同参画社会の促進をめざした男女共同参画週間記念公開講演会「ゆたかな高齢期をつくる－向老期をともに生き、ともに学ぶ－」を実施しました（参加者約700名）。

第1部はエッセイスト・作家の神津十月氏による講演「しなやかに現在（いま）を生きる－ゆたかな高齢期をつくる－」で21世紀の家族の在り方、かかわり合い方等について考え、第2部は又エックの調査研究「高齢社会に向けての男女共同参画学習に関する調査研究」プロジェクト・メンバーがそれぞれの調査研究結果に基づいた報告及び会場との意見交換を行いました。自分らしく豊かな高齢期を迎えるために、一人ひとりの学び方、生き方等を考える機会となる講演会となりました。

また女性教育情報センターでも、公開講演会の参加者等が男女共同参画学習への理解を深めるために、男女共同参画週間ポスター、男女共同参画学習関連資料の展示を行いました。



▲講演を行う神津十月氏



▲参加者で一杯となった会場

## 事業予告・募集

### 家庭・地域で担う子育て支援セミナー

9月13日（木）～14日（金）まで、1泊2日で「家庭・地域で担う子育て支援セミナー」を開催します。今年度のテーマは「男性が家庭・地域へ一歩ふみ出すきっかけづくり」です。男女共同参画の視点に立った子育て支援をめざし、男性の子育て・地域活動への参加促進及び母親の子育て不安の解消を図るための実践的研修を目的としています。

主な内容は、家庭教育行政の動向についての講義、男女共同参画の視点に立った子育て支援を考えるための講義・ワークショップです。特に、分科会は、講座の企画・ホームページ（子育て情報）の企画・コミュニケーション能力の向上・子育てサークル支援の4分科会を設けました。セミナーの最後には、分科会講師によるシンポジウムも計画しています。たくさんの方の参加をお待ちしています。

## 事業予告・募集

### ヌエック2001・全国交流フェスティバル

10月19日～21日、「男女共同参画への行動ー出会い・感動・ネットワークー」をテーマとした「ヌエック2001・全国交流フェスティバル」が開催されます。ジェンダー問題、高齢化、環境等に関する日頃の学習・活動報告、茶道・華道、七宝焼き、料理教室等の実技体験、朗読・演奏等、さまざまな自由企画プログラムが実施されます。また第1日目は、上野千鶴子東京大学教授と河野貴代美帝京平成大学教授によるトーク＆トーク「ここまできたフェミニズムー追い風・向かい風のなかでー」が行われます。詳しくは、事業課までお問い合わせください。

### 男女共同参画学習推進フォーラム

男女共同参画社会の形成をめざし、地域の実情と人々の学習要求に応じた生涯学習の推進と、広域的な施設間のネットワーク形成の充実を図るため、女性教育施設・生涯学習関連施設と連携して地域においてフォーラム等を実施する「男女共同参画学習推進フォーラム」の開催日時についてお知らせします。

川崎市男女共同参画センター（9月8日かながわ女性センター、10月6日川崎市男女共同参画センター、10月23日川崎市教育文化会館、10月27日川崎市産業振興会館、10月28日川崎市男女共同参画センター、11月17日麻生市民館、12月8日高津市民館）、新潟県生涯学習推進センター（12月16日新潟ユニゾンプラザ）、鳥取県男女共同参画センター（12月15日同センター）、香川大学生涯学習教育センター・香川県教育委員会・高松市教育委員会（10月～1月の間、3回開催予定）となっています。

### ヌエック公開シンポジウム

ヌエックでは女性教育、家庭教育に関する調査研究で得られた最新の成果を発表し、男女共同参画に向けた調査研究の充実を図ることを目的として「ヌエック公開シンポジウム」を開催してきました。今年度は愛知県教育委員会との共催で、平成13年11月11日（日）に愛知県女性総合センター（ウィル愛知）で開催することを予定しています。平成10年度から3年計画で文部科学省の委嘱を受けて研究してきた「男女共同参画の視点に立った家庭教育推進方策に関する調査研究」がまとまりましたのでその研究成果を報告します。これからの社会では女の子も男の子も一人一人が持っている力を発揮することが求められます。そのために、「家庭の中で性別にとらわれることなく子どもを育てよう」こんな視点から改めて家庭教育を考えてみませんか。

### 女性情報国際フォーラム

平成13年11月17日（土）～18日（日）にかけて、当館にて「女性情報国際フォーラム」を開催いたします。「女性情報のグローバルなネットワークをめざしてー女性情報の新たな広がりを探るー」というテーマのもと、海外及び国内からの専門家を招いて、女性情報の現状と課題についてさまざまな側面から討議を行い、参加者間の国際的情報ネットワーク形成の推進を図ることを目的としています。17日は事例発表、分科会、18日は分科会報告、国際シンポジウムという日程です。

なお、このフォーラムには、「国際女性情報処理研修」（11月11日～17日）に参加しているアジア・太平洋地域からの研修生35名も参加する予定です。

詳細につきましては情報交流課国際交流係までお問い合わせください。皆様のご参加をお待ちしております。

### 国立女性教育会館研究紀要第6号の投稿論文募集

「国立女性教育会館研究紀要」第6号（平成14年9月刊行予定、テーマ「男女共同参画社会と学びの創造」）の刊行にあたり、ジェンダーの視点に立った生涯学習に関わる国際的、学際的研究ならびに実践的研究に関する論文を募集します。原稿は日本語、英語のいずれかで執筆するものとし、論題はテーマに関するものあるいは自由論題のどちらでもかまいません。原稿の提出締切は平成13年11月30日（金）です。応募資格は問いません。投稿原稿の掲載の可否は、紀要委員会において選考のうえ決定します。女性学、男性学、ジェンダー研究、生涯学習等、さまざまな分野からの研究論文、研究ノートあるいは日頃の実践活動の事例研究をお待ちしています。お問い合わせおよび投稿規定・執筆要項の請求は、事業課紀要担当まで。



## エル・ネット「家庭教育セミナー」再放送

文部科学省からの委嘱事業として、平成12年度に会館が企画・制作し、教育情報衛星通信ネットワーク（エル・ネット）（※）にて放送した「家庭教育セミナー」が、7月6日（金）よりエル・ネットにて再放送されます。

この「家庭教育セミナー」では、家庭教育に関する講座・セミナー・対談等を全15回放送いたします。放送日時は、7月6日（金）から12月7日（金）の毎週金曜日（祝日を除く）14時から15時です。

「家庭教育セミナー」は、エル・ネットの受信設備のある全国の公民館、図書館、学校、生涯学習センター等（約1,500カ所）で見ることができます。また、会館では、貸出用ビデオを用意しておりますので、ご希望の方は事業課までお問い合わせください。

※ 平成11年7月より文部省が本格運用を開始している社会教育・学校教育の衛星通信ネットワーク。通信衛星を利用して全国の公民館、図書館等の社会教育施設や学校等の教育関係機関を衛星回線で結び教育関係等様々な放送を配信している。



## 調査研究資料の作成

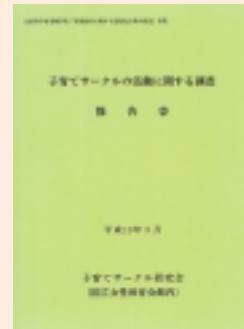
### 「高齢社会に向けての男女共同参画学習—豊かな高齢期を迎えるために—」に関する調査研究報告書

平成11年度に始まったプロジェクト研究の3年間の成果として、報告書が刊行されました。2015年に高齢期を迎える団塊の世代（1947年～1949年生まれ）を、「向老期」にあるとらえ、その世代に向けて、高齢期の豊かで多様なライフスタイルのモデルを示すことを研究の目的としています。高齢期を実り豊かな時とするためには、身近な人間関係やこれまでつちかってきた価値観を見直すこと、とりわけ女性と男性の関係（ジェンダー関係）のとらえ直しが必要となってきます。教育老年学、高齢者福祉、家族社会学、女性学、成人教育、ビジネス教育など様々な分野の6人の研究メンバーが、それぞれの立場からジェンダー関係再編のための学習プログラムを提案しています。現在、この報告書をベースに簡便なブックレットも作成しています。報告書希望者は事業課まで。



### 子育てサークルの活動に関する調査

今年の1月から2月にかけて子育てサークル研究会（国立女性教育会館内）が実施した調査をまとめた「子育てサークルの活動に関する報告書」を作成しました。この調査は全国11都道府県の1000子育てサークル（親たちが子どもを遊ばせながら情報交換や行事をする自主的グループ）を対象に活動内容、行政との関係、サークル活動の成果や課題について質問したものです。調査の結果、サークル活動は子どもにだけではなく、親にとってもプラスの影響があることが明らかになりました。しかし、行政や地域からの理解を必ずしも得られず、苦勞している様子などもわかりました。今後、このようなグループをどのように支援していくかが課題となるでしょう。報告書の入手方法や調査の詳細についての問い合わせは事業課まで。



## 情報ネットワーク

### TICT（ティクト）サイトを公開 （女性関連施設職員のためのICT習得サポートシステム）

平成13年5月31日、「女性関連施設職員のためのICT（情報コミュニケーション技術）習得サポートプロジェクト」の一環として会館ホームページにTICTサイトを公開しました。TICTという見出しをクリックしてみてください。（TICTはTraining of ICT for staff at women's facilitiesの略）

女性関連施設職員の方にICT（情報コミュニケーション技術）を習得していただくために、日常業務に直結した学習教材、女性情報リンク集、交流の場を提供しています。このうち学習教材は日常業務でよく使われる実例を中心に、様々なレベルの学習者が目的に合わせて自由に学習できる仕組みになっていますので、全国の女性関連施設職員の方をはじめ、一般の方にも広くご利用いただけます。

現在はWORDを使って「定型文を作る」「チラシをつくる（1）～（3）」という教材を提供しています。今後は職員の方のニーズにそった教材を開発していきたいと思っておりますので、ご意見・ご感想・ご質問などを交流の場「若苗広場」にお寄せ下さい。



▲サイトのトップページ

## ことばの基礎知識

### 配偶者からの暴力防止及び被害者の保護に関する法律(平成13年法律第31号)

通称DV(Domestic Violence)防止法が、今年4月13日に公布され、10月13日から施行されます。前文には、配偶者からの暴力は犯罪であること、配偶者からの暴力を防止し、被害者の保護を図ることは男女平等のために必要であると明記されています。地方裁判所は、被害者の申し立てにより暴力を振るう配偶者に対して6ヶ月の接近禁止、または住居からの2週間の退去命令を出すことができ、これに違反したものは1年以下の懲役または100万円以下の罰金が課せられるという保護命令が設けられました。

家庭内暴力は、夫婦の間で隠ぺいされた問題でしたが、1995年の北京会議を機に、日本でも社会問題として認識されるようになりました。数日間という超スピードで国会を通過しましたが、この法律の成立背景には女性議員による党派を超えた地道な活動と努力があったということに、わずかながらもジェンダー関係が変化していると感じさせられます。

## ボランティアコーナー

### ボランティアグループ「なごみ」

1979年当時主催、受入事業に携っていたボランティアにより“活動のための学習”と“仲間づくり”を旨とし「なごみ」が誕生しました。

会館と利用者の間にたって何が出来るのか皆で考えました。その中から色々な活動が生まれ育っています。又エックニュースの発送もそのひとつです。まだニュースが作られて間もない頃ひとりのボランティアの「これを全国の人に読んでもらう方法はないかしら」という声がきっかけでした。長い間には人も活動も変わりますが活動の成果として、又エックの主催事業にもワークショップで参加、小さな交流の場を提供することができました。又、主催事業の参加者にソフトなニュースを伝えたいと、自主活動で作成していた「ようこそ又エックへ」が会館の依頼活動に取り入れられました。

利用者になにができるのかを心にとめ、ともに学びながら、就実した活動ができるように力を合わせて行きたいと思います。



### 研修棟のご紹介

又エック研修棟には、講堂、大会議室のほか、大小16の研修室があります。全ての部屋にビデオデッキと暗幕、スクリーン等の設備があり、ビデオ、16ミリ、スライド等の各種視聴覚機器を取り入れた研修を行うことができます。また、今年度新設されたマルチメディア研修室では、パソコン、デジタルビデオディスクプレーヤー等を使った研修も行えます。研修棟教材室には、16ミリ、スライド等の各映写機、アンプマイクセット、ラジカセ、実物投影機、書画カメラ、OHP等の視聴覚機器、ビデオソフト・16ミリフィルムが約500本保管されており、テーマに沿った教材の貸出を行っています。

具体的なプログラム内容やプログラムの組み方については、会館の事業課専門職員が相談に応じますのでお気軽にご相談ください。



研修棟正面▶



◀ 講堂



◀ 大会議室



◀ 研修室



## 日韓共同研究会議の開催

(女性のエンパワーメントのための生涯学習拡充策に関する調査研究)

韓国女性開発院（KWDI）の4人の研究者を迎え、5月30日、31日の2日間にわたって都内で日韓共同研究会議を開催しました。この会議は、「女性のエンパワーメントのための生涯学習拡充策に関する調査研究」の一環として昨年にも引き続いて行われたものです。KWDIが実施したアンケート調査結果の報告を核に、今後の調査プランについて、研究協力について、プロジェクト委員である原ひろ子氏、渡邊洋子氏、伊藤眞知子氏の他、韓国女性学の重鎮チョン・セイファ氏（大阪、プール学院大学教授）も参加し、活発な議論が展開されました。

会議の合間には、女性と仕事の未来館・横浜女性フォーラム・渋谷区千駄ヶ谷社会教育館などを訪問しました。キム・ジェイン企画調整室長は、日本舞踊サークル「蝶耀会」の練習風景を見て、伝統と現代文化がみごとに融合していることに感銘を受けたといいます。このプロジェクトは平成15年度まで続きますが、会議を重ねながら日韓の友好関係を深めていきたいと考えています。



▲討議風景



▲左/金在仁KWDI企画調整室長 中央/原ひろ子座長 右/鄭世華プール学院大学教授



▲大野理事長(前列左から2番目)と出席者一同

## マルチメディア研修室 利用開始！

前号にてお知らせいたしましたマルチメディア研修室が、生涯学習としてのマルチメディア（文字、画像、音声、映像等の情報をデジタル化し、コンピュータで扱う技術をいう。）の活用及び普及を目的とした研修等を行う施設として、7月1日より利用できるようになりました。

マルチメディア研修室の利用の際は、利用される団体の中にコンピュータシステムに関する知識及び技術を有している方が必要となります。また、ご利用時には、会館が定めた「マルチメディア研修室利用規程」及びその他法令等の遵守をお願いいたします。詳しいお問い合わせ、利用のお申し込みにつきましては、事業課までお願いいたします。

### マルチメディア研修室利用案内

スエック研修棟にマルチメディアを活用できる新たな研修室が開設されました。IT・情報機器等の生涯学習の場として、ご利用ください。

マルチメディアとは、一般的に「文字・画像・音声・映像」の4つの要素から構成され、コンピュータで扱う技術」といわれています。画像・音声・映像は、デジタル化されたデータで表現され、コンピュータで扱うことができます。

○利用可能な機器

- PC（デスクトップ型）/ ノート型
- プリンター / 複写機 / 複合機
- スキャナー / 複写機 / 複合機
- デジタルカメラ / デジタルビデオカメラ
- デジタルオーディオプレーヤー / デジタルビデオプレーヤー
- デジタルビデオカメラ / デジタルビデオカメラ

○利用可能なソフト

- ワーディング / スプレッドシート / データベース / プレゼンテーション / 画像編集 / 音声編集 / 映像編集
- インターネット / インターネット / インターネット / インターネット
- インターネット / インターネット / インターネット / インターネット
- インターネット / インターネット / インターネット / インターネット

○利用可能なサービス

- インターネット / インターネット / インターネット / インターネット
- インターネット / インターネット / インターネット / インターネット
- インターネット / インターネット / インターネット / インターネット
- インターネット / インターネット / インターネット / インターネット

○お問い合わせ先

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1 (丸の内線) 丸の内駅 徒歩1分

TEL 03-43-42-1111 (FAX) 03-43-42-1112

E-mail: info@seisaku.co.jp



マルチメディア研修室▶

# お知らせ

## 体育館床面などを改修

ヌエック体育館の改修が終わり、ガラス屋根及び床面などが新しくなりました。体育館には、バレーボール用具、バトミントン用具を初め、様々な設備を揃えておりますので、是非ともご利用ください。

### 【体育館の概要】

- 球技施設等  
バレーボールコート2面、バスケットコート1面、バトミントンコート3面、卓球台10台（各種競技を単独で利用した場合のコート数です。）
- 設置備品等  
ピアノ、CDプレーヤー、カセットデッキ、スピーカー
- 利用時間  
午前9時から午後9時まで（午後6時から午後9時の利用については、交流を目的とした利用を優先させていただきます。）



## ●利用案内

### ※休館日（平成13年8月～10月）

8月6日(月)・20日(月)

9月3日(月)・17日(月)

10月1日(月)・15日(月)

休館日でも前日に宿泊した方は、朝食と午前10時までの宿泊棟の利用ができます。

電話やFAXによる申し込みの受付や利用相談も行っています。

【申し込み専用電話】 TEL：0493-62-6723  
FAX：0493-62-6720

### ※女性教育情報センターの夜間開室

今年度も会館利用者の学習支援を目的として、開室時間の延長を行うこととしておりますのでご利用下さい。期間は7月20日～11月30日までの毎週金・土曜日、時間は午後9時までです。

### ※ 全国ボランティア情報提供・相談窓口

【受付時間等】 12月28日～1月4日を除く毎日 午前9時～午後5時

電話：0493-62-1131

FAX：0493-62-8185

E-mailアドレス：vol@nwec.go.jp

会館ホームページアドレス：http://www.nwec.go.jp/

（インターネットによる情報提供を会館ホームページから公開しています。）

## ●利用者一覧（平成13年8月～10月）

### 5月

- 26日～ 全埼玉私立幼稚園連合会
- 29日～30日 埼玉県総合教育センター（平成13年度教員初任者研修）

### 6月

- 2日～ 3日 吉川市女性行動計画策定委員会
- 12日～13日 埼玉県総合教育センター（平成13年度教員初任者研修）
- 14日～18日 社団法人国際婦人教育振興会（海外派遣事前研修）
- 15日～17日 平成13年社会教育施設ボランティア交流会（Vnet社会教育施設ボランティア交流会：国立女性教育会館共催）
- 20日～22日 文部科学省（平成13年度全国社会教育主事研究協議会）
- 24日～25日 滋賀県地域婦人団体連合会
- 24日～29日 文部科学省（平成13年度教職員管理主事等研修講座）

## ●展示コーナー

### 「新しい働き方の創造」

働き方の形態は多様化しており、雇用労働にとどまらず起業家として活躍する女性たちも目立つようになりました。働くことが、社会で家庭であるいは自分にとって、どんな意味を持つのか考える資料を一階エントランスホールに展示中です。是非ご覧ください。



#### \*展示資料例

「女性の仕事おこし、まちづくり：男女共同参画社会へのエンパワメント」

「女性の働き方ガイドブック：変わる社会・変わる女性」

「男女共同参画と女性労働：新しい働き方の実現をめざして」ほか

## 編集後記

- 今号では、事業の予告・募集記事をたくさん掲載しています。「ヌエック2001・全国交流フェスティバル」は参加型の事業であり、さまざまな自由企画のプログラムや実技体験に参加できます。「女性情報国際フォーラム」では、本文にあるとおり、アジア・太平洋地域からの参加者がいるので、例年にも増してさまざまな国際交流ができることでしょう。また、「男女共同参画学習推進フォーラム」の開催日が決定しました。「ヌエック公開シンポジウム」においては、新しい試みとして愛知県で行うこととしました。どなたでも参加できる事業ですのでお問い合わせ下さい。
- 今年度のヌエックニュースの表紙は、当会館事業課の職員である小輪瀬護安さんが描く会館内の風景画が飾ります。描かれている絵にもあるとおり、現在会館内ではとても木々の緑がきれいです。体育館、プール、テニスコートの利用のみでも宿泊付で利用できますのでお出でください。

## ヌエックニュース第94号

平成13年7月15日発行

編集発行 国立女性教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

☎0493-62-6711(代表)

FAX.62-6722(庶務課) 62-6720(事業課) 62-6721(情報交流課)

ホームページURL <http://www.nwec.go.jp/>

E-mail [webmaster@nwec.go.jp](mailto:webmaster@nwec.go.jp)

この紙は再生紙を利用しています。